

革新的医療技術研究開発推進事業 (産学官共同型)について

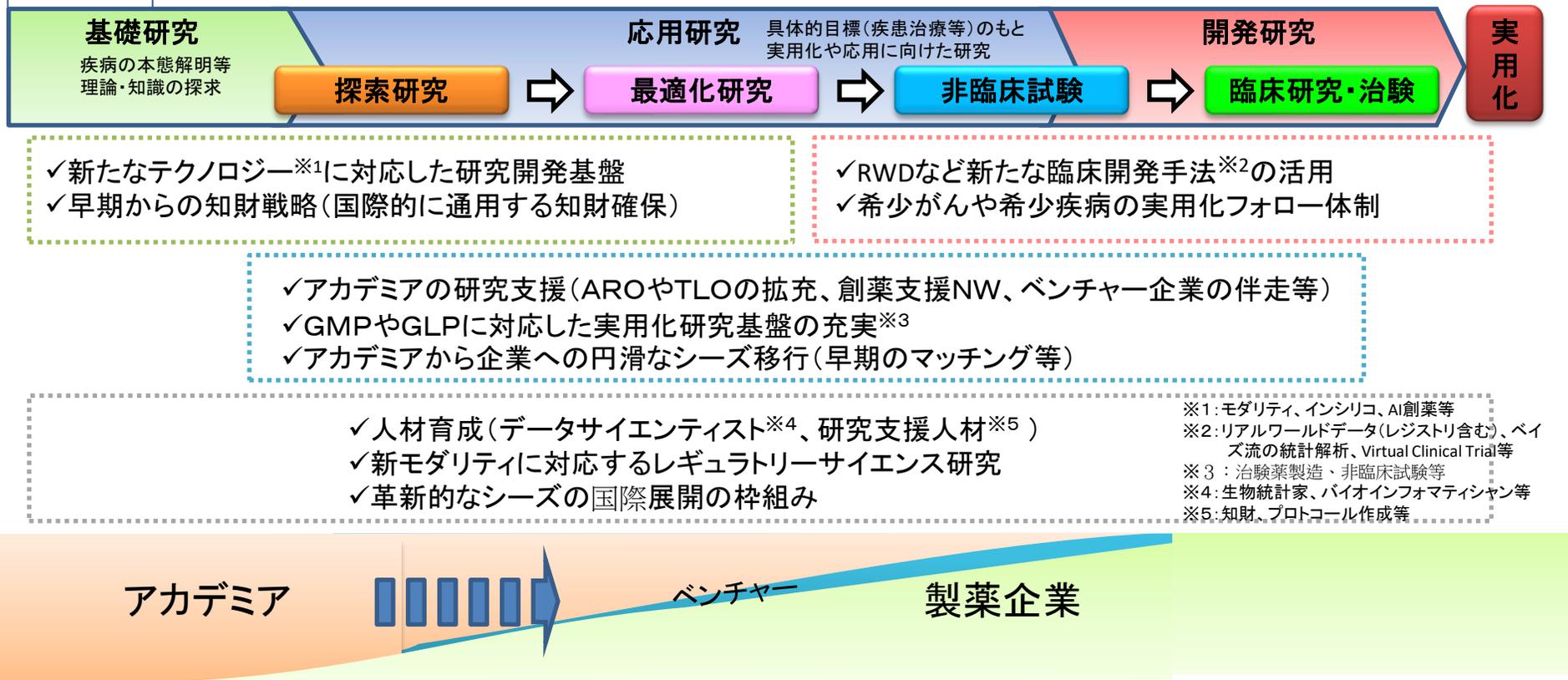
令和6年3月14日

内閣府 健康・医療戦略推進事務局

医薬品開発協議会 当面優先して議論する課題 令和2年度まとめ(令和3年3月29日)

「医薬品の研究開発における課題や当面優先して議論する項目」

主な課題



当面優先して議論する項目

- **アカデミアと企業のギャップを埋める仕組み** (非臨床等の実用化研究、早期の産学連携、知財等)
- **新たなテクノロジーや開発手法を活用した研究の推進体制**
- 新規モダリティ等に対応するレギュラトリーサイエンス研究
- 人材育成(データサイエンティスト※4、研究支援人材※5等)
- 医薬品の研究開発に関する環境整備

革新的医療技術研究開発推進事業（産学官共同型）

（科学技術・イノベーション推進事務局 日本医療研究開発機構担当室）

令和4年度補正予算額 80.0億円

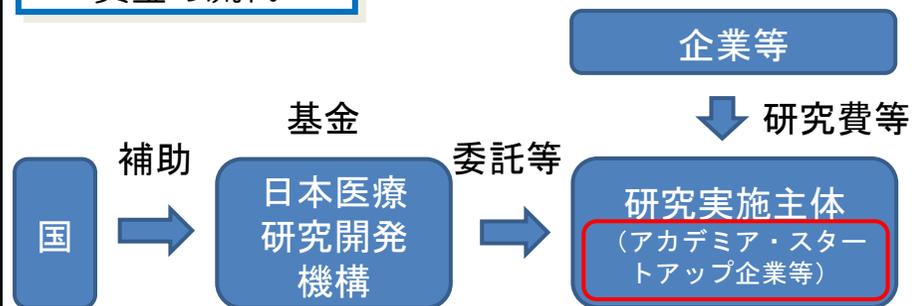
事業概要・目的

- 単独のアカデミアや企業では取り組みにくい研究開発領域について、スタートアップ企業も巻き込みつつ、複数年にわたって幅広く産学官の連携を通じた革新的なアプローチを行うことにより、世界最高水準の医療提供に向けた医薬品、医療機器等の研究開発を行う。
- 国費と企業原資の研究費を組み合わせることにより、産学官共同による医療上の必要性が高く特に緊要となった医薬品・医療機器等の研究開発を推進する。併せて、産学官連携の更なる高度化のため、高い技術と機動力のあるスタートアップ企業の参画を支援する。

事業イメージ・具体例

- 複数アカデミアと複数企業の連携による非競争領域の共同研究を、企業から提供されるリソースとAMEDからの委託費を組み合わせることで実施。AMEDの委託費は、研究進捗に応じた柔軟な資金配分（総額の範囲内での年度を超えた増減等）が可能。また、AMEDの伴走支援により産学連携を強力に推進する。
- 社会実装、競争領域を意識しつつ、その前段階の非競争領域を産学官それぞれの力を結集し研究開発を行い、成果の早期社会還元を目指す。
- 医療分野の研究開発におけるスタートアップ企業の役割の重要性に鑑み、産学官共同の研究開発に、高い技術と機動力のあるスタートアップ企業の参画を確保し、更なる連携と実用化につながる成果の発展を目指す。

資金の流れ



期待される効果

- ニーズに応える医薬品、医療機器等の研究開発が促進され、実用化成功確率の向上につながる。さらに本事業での産学官共同研究が今後の連携のモデルとなり、スタートアップ企業の振興や医療分野の研究開発エコシステムの活性化に繋がることが期待される。

事業スキーム (アカデミアタイプ)

凡例



研究開発
担当者



研究
分担者



連携研究
代表者



産学官連携研究
企業に所属
し、本事業に参
画する研究者



PS
千葉勉氏

コンソーシアム等

総額X億円以上相当のリソースを
アカデミアへ提供(産学連携リソース)

研究推進委員会

AMED

X億円の
委託費

委託研究
開発契約

委託研究開発契約の範囲

アカデミア
(代表機関)
研究内容①-1



研究開発
代表者



研究分担者
(分担機関)
研究内容①-2



研究分担者
(分担機関)
研究内容①-3



アカデミア
研究内容②-1

資金の提供
物品の提供

研究分担者
研究内容②-2

資金の提供
物品の提供

研究分担者
研究内容②-3

研究者の派遣

産学官共同研究企業

企業A
幹事企業

企業B

企業C

共同研究契約など

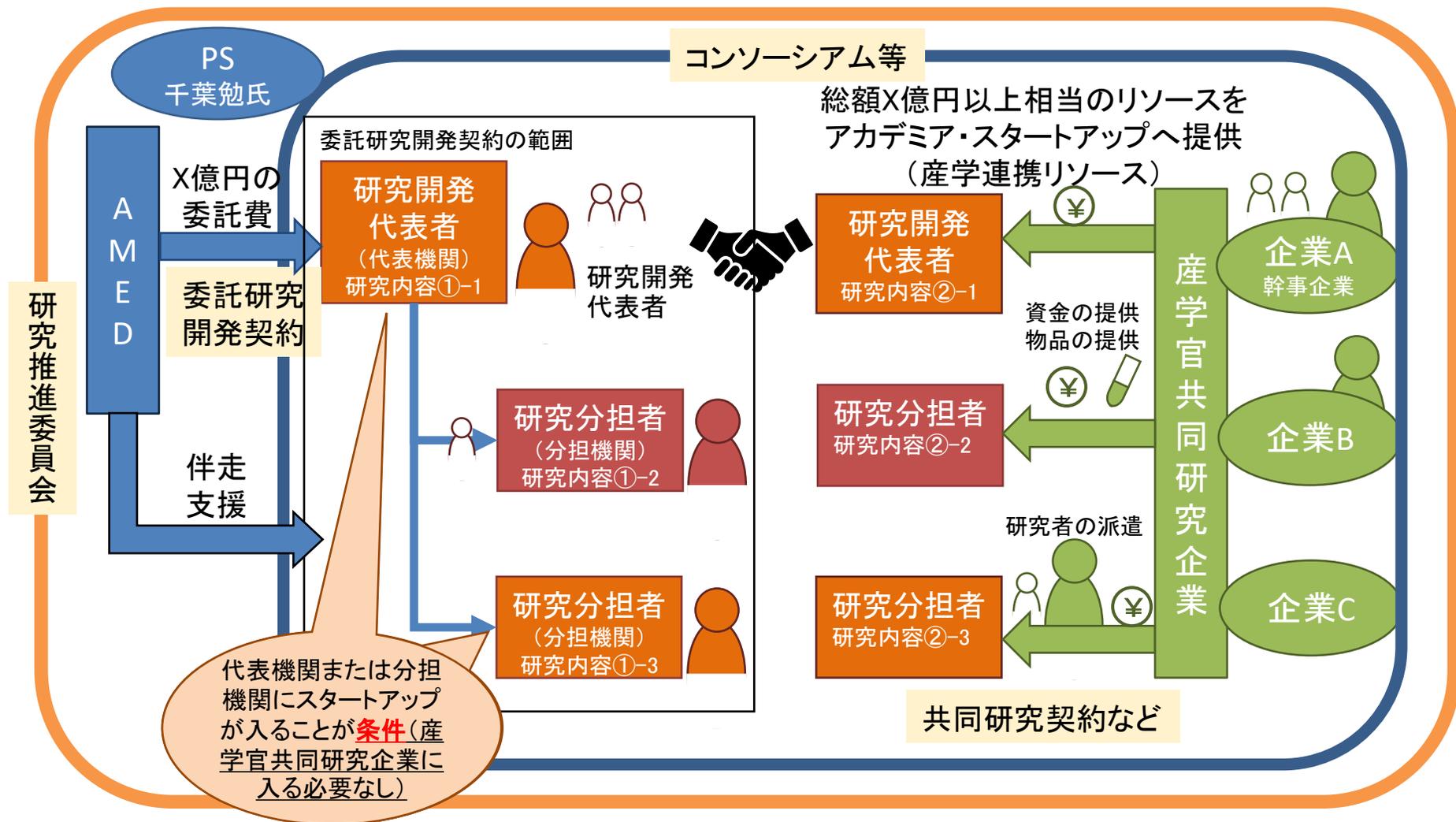
伴走
支援

伴走支援
受託機関

事業スキーム (スタートアップタイプ)

凡例

- 研究開発担当者 (赤い人)
- 研究分担者 (茶色い人)
- 連携研究代表者 (緑い人)
- 産学官連携研究企業に所属し、本事業に参加する研究者 (白い人)



公募採択について

一次公募(アカデミアタイプ)

公募開始: 令和4年8月

研究開始: 令和5年2月

申請数 9件 → ヒアリング審査数 4件 → 採択数 1件

二次公募(アカデミアタイプ)

公募開始: 令和5年2月

研究開始: 令和5年10月

申請数 9件 → ヒアリング審査数 6件 → 採択数 1件

三次公募(スタートアップタイプ)

公募開始: 令和5年9月

研究開始: 令和6年4月予定

申請数 15件 → ヒアリング審査数 10件 → 採択数 4件

今後、四次公募としてアカデミアタイプ・スタートアップタイプの公募を合わせて実施する予定